

1.長期成長ビジョン

- 酪農乳業界全体の維持・発展に寄与するため、新工場を建設する大規模投資を行いシェア拡大を図り、**売上高200億円**企業を目指す

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

【当社が目指す姿】

酪農乳業界全体の維持・発展に寄与し安心・安全で高品質な牛乳・乳飲料を消費者に届ける

【成長のビジョン】

- ・安定した供給を確保するために自社の利益のみでなく酪農家も含めWIN-WINな関係性を構築する
- ・安心・安全な牛乳・乳飲料を安定的に供給するために引き続き、品質管理を徹底する
- ・自社商圈内においてシェアを拡大し、自社を飛躍的に成長させ地域を代表する企業となる
- ・従業員への還元、地域雇用の創出など地域と共に持続可能な経営を目指す

会社全体の売上成長目標（2030年3月期）

- ・売上高成長率122%
- ・売上高増加額99億円

2033年度に売上高200億円を目指す！

会社全体の賃上げ目標

- ・0.33%（直近事業年度～基準年度）
- ・6.0%（基準年度～事業化報告3年目）

外発的動機

- ・人口減少により市場拡大は見込まれないため、シェアを確保することが重要。
- ・スーパー・マーケットの再編により小型店舗が減少し大規模化。効率的な仕入をするために乳処理事業者への受注は一定の規模を超えるようになり対応できる乳処理事業者が限られている。更にドラッグストアへの参入より加速化している。
- ・大手3大乳業メーカーが牛乳生産から高付加価値乳加工品へシフトし業界内の再編、集約が進んでいる。
- ・生産コストは上昇しているおり、省力化投資により労働生産性向上が急務。
- ・人手不足により365日稼働しなければならない乳処理事業者の雇用確保には賃上げが必須。

内発的動機

- ・国内の酪農の衰退に歯止めをかけるとともに消費者の健康を支える牛乳・乳製品を安定的に拡販する
- ・取引先からの増産要請に応えるとともに新規先を獲得し自社を発展させ持続可能性の高いビジネスモデルを構築する
- ・人手不足の中、懸命に働く従業員に賃上げという形で報いるために大規模投資を実施し、自社を飛躍的に成長させ賃上げの原資を確保し十分な還元を行いたい

2.補助事業の概要

- 新工場建設と省力化が図れる設備投資により売上高増加とシェア拡大を図り、労働生産性を向上させる
- 増加する利益を従業員へ還元するとともにサプライチェーン上の取引先に高い波及効果が生まれる成長戦略を実現する

補助事業の背景・目的

- 受注旺盛で既に生産能力は限界の状況。取引先からは本投資を見据え、具体的な増産依頼あり、設備投資は急務の状況。
- 顧客からの要請に応えることで更なるシェアを獲得し、大幅に付加価値を増加させるべく収益性の向上、生産性の向上を目指す。

事業費
(補助額)

89億円
(22億円)

設備投資の内容

- 新工場および本社 27.5億円
(3階建て、延べ床面積5101.76m²)
新工場を建設し、製造ラインを4ライン設置する
- 調合殺菌設備 24億円
- 充填機 15億円 4台
- ユーティリティ設備 25億円 (電気 配管 ボイラー等)
- 当社の課題は製造能力が限界であること。既存工場には新ラインを設置するスペースがなく新工場建設は必須。
- 既存工場のラインは老朽化しており、新工場稼働後に順次停止する
- 本投資により当社の製造能力は2倍超増加する。1ライン当たりの製造能力が14%UPし、2ライン体制から4ライン体制へ増加させる
- 旺盛な受注に対応可能となり売上高が大幅に増加することで労働生産性も飛躍的に向上する。

新工場完成イメージ



※その他導入設備は次項に記載

目標値

項目	2027年度（2028年3月期） (基準年度)	2030年度（2031年3月期） (基準年度 + 3年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	2,662	5,699 (年平均上昇率 + 28.9%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	398	473 (年平均上昇率 + 6.0%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率 + 5.0%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	40	49

2.補助事業の概要

➤ 導入予定の設備イメージ

調合殺菌設備



充填設備



最新型の充填機



画像処理機印字検査機イメージ



ウェートチェックイメージ